

令和4年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

1 新カリキュラムへの円滑な移行
2 地域の教育力の活用と地域への還元
3 B Y O Dに対応した学習指導・生活指導の推進
4 ウイズコロナに立脚した安全・安心な学校運営

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・全員面談による生徒の状況把握や少人数授業の導入により、多様な生徒に応じたきめ細かい指導を推進し、基礎・基本の確実な定着を図った。 ・B Y O Dの導入はスムーズに進めることができた。授業や探究活動において端末の更なる有効活用に向けて取り組む。	・少人数授業で一人一人を大切に見てもらえることはありがたい。今後も生徒の実態に応じた取組をお願いしたい。 ・双方向によるオンライン授業の実施はありがたい。出席停止期間も登校時と同様の教育効果が期待できる。
改善方策	・次年度は1年次における国語・数学・外国語の少人数授業が完全実施となり、個に応じた学習の更なる充実を図る。	
生徒指導	・コロナ禍において生徒会行事や部活動の大会の中止や制限があったが、創意工夫しながら学校祭や強歩遠足を実施することができた。 ・ステップアッププログラムを通して、良好な人間関係の構築に向けて、S Cとの連携のもと適切な対応に努めた。	・新型コロナウイルスの終息は見えないが、今後も対策をしながら、内容や時期を検討して行事を実施してほしい。 ・今後もS Cとの連携を強化して、生徒に寄り添う指導の継続が肝要である。
改善方策	・今後も生徒の実態把握と情報の共有に努め、組織的な校内体制による生徒指導を推進するとともに、体験的な活動を通して自他を尊重する人間力の育成を図る。	
進路指導	・生徒の自学自習ツールとしてスタディサブリの導入により、学び直しから大学進学に対応した指導の充実を図ることができた。 ・外部機関を活用した体験的なガイダンスや分野別説明会により進路意識の高揚をはかることができた。	・進学就職を問わず、社会に出るための資質・能力の育成が大切である。 ・キャリア教育の充実と資格取得の奨励で、生徒に自信と社会性を持たせるような取組を期待する。
改善方策	・進路シラバスを明確にするとともに生徒だけでなく保護者に対する情報提供や相談体制を構築し、系統的な進路指導の実現を図る。	
健康安全指導	・学校保健委員会を中心にS Cや学校医と連携した組織的な感染症対策により、新型コロナウイルスの校内感染は0名であった。 ・防災教室、交通安全教室など、コロナ禍における急な日程変更にも柔軟に対応し、円滑に進めることができた。	・登校時の全生徒検温、昼食時の座席確保など校内で手厚い感染症対策が取られているうえ、家庭への連絡もスムーズで安心できる。 ・今後も生徒の健康安全に関する体験的な学習機会の充実を図るべき。
改善方策	・適時、生徒の実態に即した効果的な指導方法を推進する。また、防災教室を継続し主体的に健康安全を実践する態度の育成を図る。	
研 修	・特別な配慮を必要とする生徒への対応やI C T活用に関する研修機会の充実を図った。	・今後も校内研修の機会の充実が望ましい。
改善方策	・今後も外部講師の招聘による研修機会を確保するとともに職員間で相談しながらスキルアップできる環境づくりを推進する。	
保護者・地域住民との連携	・本校の教育活動を地域に情報提供し、地域の方々から関心を持ってもらう工夫が必要である。 ・地域行事への参加と多世代交流の活性化を図る。	・学校通信の町内全戸配布やH Pのタイムリーな更新により、十分に情報提供されている。 ・町の行事や企画に多くの参加が見られた。高校には農場があるので有効活用してほしい。
改善方策	・学校通信の発行の増加は地域への情報提供に大変効果があった。今後も地域の教育資源を有効に活用した開かれた学校づくりを推進する。	
公表方法	・ホームページ上における公表	・P T A総会時における保護者への公表